



ひとと自然が響き合い未来へ奏でる人道のまち やおつ

やおつ

議会だより

No.188

2022.11



令和4年9月28日 和知小学校6年生の議会学習



建設文教・総務民生常任委員会合同現地視察研修 …	2
第4回定例会議決情報	3
第4回定例会一般質問	6
第5回臨時会議決情報	10
議会日誌	11

特集 和知小学校6年生が議会学習に来ました … 12



令和4年8月9日（火）に、建設文教常任委員会と総務民生常任委員会の合同で現地視察を開催しました。

令和4年8月9日（火）午前中に、議会常任委員会合同で、令和3年度に実施した工事現場及び令和4年度に実施予定の工事現場について、視察を行いました。また、午後からは、杉原千畝記念館で開催中の企画展示「空のない星～ホロコーストの子供たち」の視察を行いました。

（視察先）

- 和知テニスコート人工芝張替工事現場**
- 久田見カラー舗装現場**
- 福地地内ライフライン保全対策事業現場**
- 杉原千畝記念館**

（視察を終えて）

令和3年度事業で実施した2か所の現場では、概要説明を受け、現地の工事完了状況を確認しました。完成後の現場では、事業効果が期待できるものと感じました。また、令和4年度の事業予定である久田見カラー舗装の現場は、町道の車幅も狭いため、車両の運転者へ注意喚起を促す点でも、子供たちの安全性を守る点においても、有効な事業であると感じました。

杉原千畝記念館で視察しました企画展示では、山田館長から杉原千畝氏に関する説明と企画展の趣旨と展示品の説明を受けました。企画展示の内容に、改めて日本の平和の有難さを実感しました。



意見箱1件、ご意見をいただきました。

令和4年10月3日（月）に、意見箱に1件、ご意見をいただきました。

（ご意見の内容）「地区の環境整備のお願い」

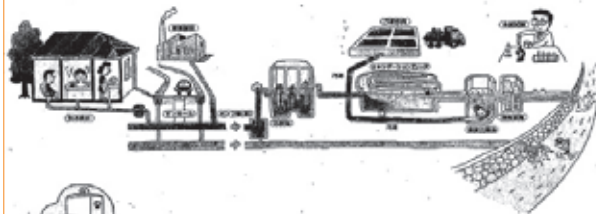
下水道の接続家庭が増加するよう指導・喚起をお願いしたい。補助金や貸付金があれば周知してほしい。自治会毎の未接続データを公表してほしい。

（担当課からの回答）-----

- ①広報やおつ11月号で、右に掲載の下水道接続の啓発記事を掲載しています。
- ②現在、補助金や貸付制度などはありません。
- ③自治会毎の未接続戸数のデータはありません。公表については、家庭の事情も様々あるので適当ではないと考えています。

下水道への接続はもうお済ですか？

現在、八百津町の公共下水道整備区域の下水道接続率は88.4%、農業集落排水区域では81.3%となっています。
下水道は、水道・電気・ガスなどと同様、私たちの生活に欠かすことのできない重要なライフラインの一つです。汚水の排水・トイレの水流化といった生活環境の改善のみならず、川の水質をきれいに保つことで自然環境を守っています。
その効果を十分発揮するために、下水道が整備された区域でまだ接続されていない世帯は、早急の接続をお願いします。



台所、トイレ、お風呂のリフォームしてみようかしら？
そう思われたら下水道に接続してはいかがでしょうか？

下水道への接続の依頼方法

まずは、印指定の下水道工事業者に接続費用の見積をしてください。
費用等を検討された後、工事施工をご依頼ください。
下水道接続に関する依頼への届出は、印指定の下水道工事業者が行います。
接続工事完了後、町から接続の完了検閲をお願いします。
下水道使用料は検閲完了後、接続工事完了時の水道メーター读数を基に算定します。
既定業者が分らない場合は役場水道課までお問い合わせください。

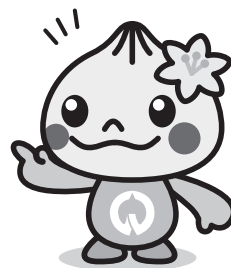


☆☆問合せ・接続の相談は☆☆
八百津町役場水道課
0574-43-2111 (2122, 2123)

～ 水道料金のお支払いは、お忘れの心配がない口座振替をぜひご利用ください ～

9月 定例会

- 令和4年度一般会計補正予算案など
8件を可決・同意
- 令和3年度一般会計ほか各会計決算6件を認定
- 「防災意識の向上について」など8氏が一般質問



令和4年第4回定例会は、去る9月7日に招集され、16日までの10日間の会期で開かれました。

本会議初日には、金子町長から行政報告と提案説明があり、続いて、執行部から提出議案12件について議案説明が行われ、各常任委員会にそれぞれ議案の審査を付託し散会しました。

本会議最終日の16日には、8名の議員が一般質問を行いました。この様子はCCネットにより生中継と録画放送されました。次に、追加提案された2議案について審議し、採決の結果、全議案を原案のとおり可決、認定、同意し、今定例会を閉会しました。



令和4年度一般会計補正予算（第2号）予算説明からの抜粋

コロナ禍において原油価格・物価高騰等の影響により、電気代の高騰による光熱水費の不足と新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の追加など、当初予算の編成時以降、新たに必要が生じた事務事業経費の予算をお願いするものです。

主な事業を第5次総合計画の基本目標に沿って説明します。

基本目標1 笑顔で寄り添う福祉と健康のまちづくり

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 2,834万7千円
- 保育施設整備工事 1,420万5千円
- 保育園給食配送用自動車購入費 133万6千円

基本目標2 快適な生活を過ごせる安心・安全なまちづくり

- 交通安全施設整備費 600万円

基本目標3 優しく郷土愛を育む歴史・文化のまちづくり

- 校外学習等新型コロナウイルス感染症対策補助金 117万2千円

基本目標4 ともに考え、ともに創る魅力・にぎわいのあるまちづくり

- 再造林加速化促進事業 18万3千円

いんちきどが決まりました



予算

- ▼令和4年度八百津町一般会計補正予算(第2号)
主な内容は次のとおりです。
- ▼総務関係の追加……224万3千円
- ▼民生関係の追加……401万4千円
- ▼衛生関係の追加……318万5千円
- ▼農林水産業関係の追加
……18万3千円
- ▼土木関係の追加……600万円
- ▼教育関係の追加……591万円
- ▼諸支出金関係の追加
……19万9千円
- ▼令和4年度八百津町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
主な内容は次のとおりです。
- ▼総務関係の追加……16万5千円
- ▼諸支出金関係の追加
……1393万円
- ▼令和4年度八百津町介護保険特別会計補正予算(第1号)
主な内容は次のとおりです。
- ▼地域支援事業費関係の追加
……17万5千円
- ▼諸支出金関係の追加
……6396万2千円

決算認定

- ▼令和3年度八百津町一般会計特別会計
決算状況については、「広報やおつ」11月号をご覧ください。

公営企業会計決算認定決算状況については、町ホームページをご覧ください。

人事案件

- ▼固定資産評価審査委員会委員
村瀬 宏明氏



- 任期は令和4年10月1日から令和7年9月30日までの3年間
- ▼教育委員会委員
佐藤 敏則氏



- 任期は令和4年10月1日から令和8年9月30日までの4年間

常任委員会での主な質疑

Q 潮見小学校統合は理解できているが、結論後で今年度中に統合を進めることは早急ではないか。

A 子供のことを最大限に考えての結論です。子供たちの学習環境や職員の配置、リスク管理の脆弱性等を考慮しますと、安心安全に学習できる教育環境を整備するため、早急に統合を進める必要があると考えました。

Q 確定申告予約システムとはどのようなものか。

A 確定申告の予約をする際に、インターネットから予約するもので、窓口での混雑を解消するためのものです。

Q タブレットの「やおつーしん」の配布状況を教えてください。

A 現在の配布率は、81.8%です。目標は100%を目指しています。8月に未申込みの方へ再度案内を送付しています。

Q 風疹の抗体検査の対象者は何人ですか。

A 令和元年度から3年度まで実施しました。対象者は1103名で、うち検査を実施した方は310名です。検査した方でMRワクチンを接種した方は85名でした。国において、今後3年間、引き続き本事業の継続が決定しています。



議案番号	議案名	結 果	安 藤 峰 行	赤 塚 孝 博	後 藤 一 夫	後 藤 香 代 里	長 谷 川 泰 幸	林 俊 宏	館 林 久 宜	加 藤 良 治	山 田 勉	三 宅 和 行	主な内容	
議案第35号	八百津町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のための措置に係る地方公務員の育児休業等に関する法律の改正、人事院規則の改正に伴い、条例の改正を行うもの
議案第36号	八百津町小学校及び中学校の設置等に関する条例及び八百津町社会体育施設の設定及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	潮見小学校を令和5年3月31日をもって閉校し、八百津小学校と統合するため、条例の改正を行うもの。また、同時に潮見小学校の屋内運動場を社会体育施設として設置するため、条例の改正を行うもの
議案第37号	令和3年度八百津町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	歳入 74億5557万4924円 歳出 70億232万4796円
議案第38号	令和3年度八百津町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	歳入 13億5976万8928円 歳出 12億8828万3737円
議案第39号	令和3年度八百津町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	歳入 1億8560万9843円 歳出 1億8139万 51円
議案第40号	令和3年度八百津町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	歳入 11億5473万7985円 歳出 10億3772万9125円
議案第41号	令和3年度八百津町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	収益的収支 収入 3億8985万3728円 支出 3億7249万3459円 資本的収支 収入 3465万3900円 支出 1億5800万8068円
議案第42号	令和3年度八百津町下水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	収益的収支 収入 4億4994万6501円 支出 4億2592万5038円 資本的収支 収入 1億4011万6000円 支出 2億9638万7822円
議案第43号	令和4年度八百津町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8653万2000円を増額し、 予算総額を62億1102万5000円とする
議案第44号	令和4年度八百津町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1409万5000円を増額し、 予算総額を14億409万5000円とする
議案第45号	令和4年度八百津町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6413万7000円を増額し、 予算総額を11億8413万7000円とする
議案第46号	八百津町辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和2年3月に策定した八百津町辺地に係る公共的施設の総合整備計画のうち、福地辺地の変更計画を策定したので、 辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律(昭和37年法律第88号)第3条第5項の規定により、議会の議決を経て総務大臣へ提出する
議案第47号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	任期満了に伴う委員の選任(村瀬 宏明氏)
議案第48号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	任期満了に伴う委員の任命(佐藤 敏則氏)

一般質問

～ 主な質問と答弁の趣旨 ～

質問者	質問事項
安藤 峰 行	防災意識の向上について
後藤 一 夫	児童の荷物の適正な重さについて
山田 勉	中学生の部活動の今後の在り方について
赤塚 孝 博	公用車のEV化とEV充電設備について
後藤 香代里	小中学校の再編に伴うこれからのまちづくりについて
館林 久 宜	町道整備に関する補助制度創設について
林 俊 宏	町の財源確保に向けた計画等について
長谷川 泰 幸	企業版ふるさと納税の拡充について

一般質問と答弁は、質問議員本人の文責です。

ご利用ください 「一般質問動画配信」

本会議(一般質問)の録画映像「YouTube 八百津町議会チャンネル」



安藤 峰行 議員



問1-1

コロナ禍のため防災訓練が3年間実施することができていません。防災知識の普及啓発のほか、避難訓練や避難説明など防災力の向上を図るため、感染対策をした上で実施する必要があると思いますが、考えをお伺いします。

問1-2

町内の企業、工場に対して防災訓練の働きかけはどのような状況ですか。

答1-1 (平井防災安全室長)

今年度は教養訓練に変更し、広報やおつ9月号に、「気象情報と避難行動」を掲載したり、C C ネットやおつで岐阜地方気象台の防災気象官による、最新の気象情報の紹介や避難行動について放送しました。昨年度も、避難所開設から運営や備蓄品などの紹介を放送しています。広報やおつの「シリーズ防災安全」では、防災対策のお知らせを掲載しています。今後は、「やおつーしん」の活用も考えています。正しい防災知識や意識の向上を図り、一人ひとりが「自分を守る」、「周りの人を守る」ためには、いざという時に迅速な対応をとるための実践的な訓練が有効だと考えています。今後、感染対策に配慮し、町民の皆さんが参加できる実践的な防災訓練を検討し、自治会や自主防災組織に対しても、自主的な防災訓練等の実施を呼びかけていきたいと思っています。

答1-2 (平井防災安全室長)

工場や事業場など、用途・建物面積、収容人数等により、消防法に基づく防火対象物となる場合、防火管理者を定め消防計画を作成し、その責務において年1回以上の消防訓練等の実施が義務付けられています。今後、企業に対して、地震、風水害などの災害リスクの確認をしてもらうとともに防災訓練への参加など働きかけをしていきたいと思っています。

後藤 一夫 議員



問1

私は、4月から2か月間、小学生6人のランドセルの重さを計りました。1年生男子は、最大で4.7kg、2年生男子5.7kg・女子5.0kg、3年生男子6.0kg、4年生男子5.5kg、6年生女子6.0kgでした。1年生男子の体重は19kgです。ランドセルは4.7kgで、体重に対して重さは25%です。大人と換算すると約19kg、肥料袋を1俵担いで学校に行くことになり、これはかなりきつい仕事です。この事実について考えをお伺いします。

答1 (社本教育長)

小学生のランドセルの重さが全国的に話題となったのは、国会で平成30年6月に教科書の重量化問題に関する質問主意書が提出されたことが、一つのきっかけになっています。これを受け、文部科学省は、児童生徒の携行品に係る配慮について通達を出し、町内の学校は通達にそって、いわゆる置き勉リストを作成し、児童の通学に配慮をしました。町内の例では毎日持ち帰る教具を、国語の教科書、漢字ドリル、計算ドリル、連絡帳、筆箱、タブレットに絞っています。その他に水泳用具や水筒等もあります。携行品が多い時期は、持ち帰る日を分散したり、保護者に協力をお願いしています。教育委員会も、携行品の重さを調査しましたが、国会で話題となったような極端に重い例は見られませんでした。国は重さの基準を示しておりませんが、アメリカの小児学会は、体重の20%以内との指針を紹介しています。町の調査ではおおむね20%以内ですが、1・2年生では20%を超える日も散見されました。健康被害については、内科健診の結果等で確かめていますが、ランドセルに起因する側弯異常等の所見は受けていません。

改めて各学校に携行品のルール徹底とランドセルの背負い方に関する保護者との連携、1・2年生における携行品の在り方について、検討するよう助言します。



山田 勉 議員

問1

中学校の部活動は、少子化による部員不足や種目の選択肢の制限等が問題となっています。その運営は、教員の犠牲の上に成り立っている現状です。国では部活動の主体を地域社会に移す改革案がまとめられました。少子化に伴う部活動の取組みや、顧問の手当や負担の軽減、地域移行など、今後の部活動の在り方について考えをお伺いします。

答1 (社本教育長)

部活動は、学習指導要領に位置付けられた教育活動で、文部科学省はその意義を人間形成の機会としています。文部科学省は休日の部活動を令和5年度から3年間をかけ、段階的に地域移行していくこととしています。今年度の中体連夏季大会では、八百津中学校サッカー部は他の中学校と合同チームを編成して参加しました。中学校体育連盟は、複数学校の合同チームの参加を認めており、全国的にも広がっております。今後も必要に応じて他校との連携を図ります。

一方、現在の部活動は、町のガイドライン等に基づき活動時間に制限をかけるなど生徒の心身の健康に配慮しています。休日の部活動の地域移行については、今後保護者会や地域スポーツ関係者と生徒の健全な成長を根底に協議をすすめ、次年度からの段階的な地域移行を目指します。

顧問の確保、教職員の負担軽減や手当は、県の補助及び町費により、2名の支援員を配置して負担軽減に努めています。現在の部活動に対する手当は、教職員の多くは県費負担教職員ですので、県教育委員会の給与体系です。

今後、国や県の指導や助言、県内外の先行事例等を参考にしながら、八百津町の実態に合った取組みを進めていきます。



赤塚 孝博 議員

問1-1

町の第2次地球温暖化対策実行計画では、新規公用車購入の際には、低燃費車両、低公害車両を可能な限り購入するとあります。町の再生可能エネルギービジョンの推進事業でも、公共から民間にわたって、EV・FCVの導入と普及に向けたインフラ整備とありますが、今後公用車両のEV化やEV充電設備について導入や設置を進めてはどうかお伺いします。

問1-2

町が管理する消防団車両等の特殊車両を除く車両の数と更新基準についてお伺いします。

答1-1 (奥村総務課長)

計画の策定以降に更新した公用車5台は、すべて排気ガス低排出と低燃費の基準をクリアした車両を導入し、そのうち2台は、ハイブリッド自動車です。電気自動車の導入については、ガソリン車と比較して購入価格が高い傾向にあること、航続距離が短い傾向にあることなどの理由により、現在は導入に至っていません。しかし、国は2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言し、脱炭素社会の実現に向けて大きく舵を切ったところです。再生可能エネルギーの利用と併せて、環境に配慮した電動車の導入は、重要な取組みの一つであると考えていますので、公用車更新の際にはEV充電設備と共に検討していきます。

答1-2 (奥村総務課長)

町が管理する公用車は、消防等の特殊車両を除いて30台です。最近では、年平均2台程度の更新を行っています。更新基準は、購入後11年以上を更新の目安としています。今後、更新の際は、公用車を移動手段のみとして利活用するだけでなく、災害時の非常用電源として避難所などで活用することなども視野に入れながら、コスト面とその有効性を比較しながら検討していきます。

後藤 香代里 議員



問1-1

小学校の再編については、住民を含む委員会が設置されましたが、今後も様々なまちづくりの課題に対応するために、住民の声を聞き、十分な話し合いの機会を持つ必要があると思います。第6次総合計画策定の中で、住民の声を具現化する施策を盛り込んでいくことについて考えをお伺いします。

問1-2

これまでの各種委員会の構成は、女性が少ない状況です。八百津町小中学校の今後の在り方検討委員会では、委員25名のうち女性が1名のみでした。男女の比率を近づけることはできませんか。

答1-1 (瀬瀬副町長)

地域を支えるのは地域の皆様の力です。行政としても必要な施策をともに考えていかななくてはならないと考えています。令和7年度にスタートする第6次総合計画の策定にあたっては、総合計画審議会設置条例に基づき、町民の皆様から委員を35名以内で町長が委嘱します。議員にも参画いただき、未来のまちづくりの骨子を策定する予定です。

答1-2 (瀬瀬副町長)

現在進行中の第5次総合計画の基本目標にも「男女共同参画社会の形成を進めます」とありますので、男女の比率をできるだけ近づけるよう努力をしてみたいです。

舘林 久宜 議員



問1-1

総延長約400kmに及ぶ町道の法面の草刈りや木竹の除去は、大部分が地域の自主的なボランティア作業によって行われています。今後、住民の高齢化により草刈りなどが出来なくなることが懸念されます。自治会など組織的に町道の整備を担ってくれる活動に対し、補助制度を創設してはどうかお伺いします。

問1-2

地域の道路は地域で守ることは承知しています。今後、高齢化や人材や資機材の確保などの課題もあり、地域での維持管理も届きにくなっていくことと思います。こうした状況も踏まえて、ボランティアに任せっきりでなく、自主的な活動に対してもお礼などが出せるような制度はどうか、もう一度お伺いします。

答1-1 (中嶋建設課長)

町道は、地域を結ぶ連絡道から限られた方が利用するのみの路線まで様々です。これらの路線は、自治会や交通安全協会や、また、多くの場合、個人の方で田畑に面した道路法面の草刈りをしていただいているのが実情です。町道の沿線を地域の方の協力なしで管理することは、財政的にも困難です。高齢化・過疎化・地域離れなどが進み、農地や山林、宅地など放置される例が増え、道路へも影響が出るなど、地域の方による維持管理が年々難しくなっており、近年、草刈りや木竹の除去の要望や相談が増加しています。反面、財政面や人員の状況から、主要道路以外の路線は、通行に支障がある場合の対応が中心とせざるを得ません。

「地域の道路は、地域の方で管理いただきたい」という思いもありますが、全国的に困っている問題でもあります。各地域の事例を参考に地域の皆さんに協力いただけるような利用しやすい制度について、調査・研究していきます。

答1-2 (中嶋建設課長)

自治会に維持管理をお願いしている例や、県の事業では、国道や県道の整備に町内の団体が車手や燃料などの現物支給を受け、取り組んでいる例もあります。財政負担を考慮しつつ、委託方式、報奨金の支給、現物支給など、様々な方法を調査・研究して、継続的に活動できる団体にご協力いただけるような制度ができればと思います。



林 俊宏 議員

問1

当町の財政は健全であると報告されていますが、今後、管理経費等の増加が見込まれます。公共施設総合管理計画における統廃合後の町有財産について、どのような考えかお伺いします。また、不要資産等があればお伺いします。さらに、総合的に計画を推進する上で、将来の自主財源の確保に向けた取組み、方向性、見通しについての考えをお伺いします。

答1 (奥村総務課長)

健全な町政運営を維持していくためには、自主財源の確保は重要な課題であり、各種使用料、手数料等の確保や交付税として措置される有利な地方債を活用するなど財源の確保に努めています。宅地、山林及び雑種地といった土地で行政目的を喪失している土地及び建物等である普通財産は、事業用地として保有しているもの、国や県などに貸し付けているものがあります。残地の多くが不整形土地や狭小土地などで、市場では流通が極めて厳しい物件が多数含まれています。

公有財産の有効活用として、財産収入では、土地・建物貸付収入で738万4086円と、財産売払い収入で5,304万2,560円、普通財産で処分可能な土地を隣接者などへ売払い処分を行った結果、令和3年度は3件、544.95㎡を売却し、約671万3,000円の収入を得ました。貸付は、貸付運用等が可能なものについて、48件で282万円余りの収入を得ています。

今後、売却可能な資産や施設の統廃合等により利活用が可能な資産が生み出された場合、未利用財産の売却などを積極的に検討していきます。



長谷川 泰幸 議員

問1-1

当町は、健全な財政運営が維持されていますが、将来に向けて自主財源の確保は重要な課題です。こういった中、自主財源のひとつであるふるさと納税は、3億を超える額となってきました。企業版ふるさと納税は、まだ開拓の余地があると思います。今後の取り組みについて、考えをお伺いします。

問1-2

現在のふるさと納税額の内、個人版ふるさと納税と企業版ふるさと納税の金額の推移を教えてください。

問1-3

令和3年度の個人版ふるさと納税総額は県下15位で大変高く評価できるものです。企業版ふるさと納税はゼロからのスタートで伸びしろしかありません。企業側が応援したいというテーマを打ち出すことが重要です。今後ポータルサイトでのSNSを活用した運用も視野に入れて展開していくことも必要になると思いますが、考えをお伺いします。

答1-1 (奥村総務課長)

企業版ふるさと納税「地方創生応援税制」は、地方公共団体が策定した地方版総合戦略に基づく地方創生事業で、国が認定した地域再生計画に記載された事業に対して企業が寄附を行った場合、税制上の優遇措置を受けられる制度です。本町が地方創生の取り組みを行う上で、事業に対し民間企業が賛同して応援をしていただけることは、財源確保からも有益です。今後、この企業版ふるさと納税を活用した地方創生事業に取り組む際は、十分に企業との調整や協議を行い、連携を密にして進めていく必要があると考えます。

答1-2 (大鋸地域振興課長)

平成20年度の15万円の寄附がはじめとなり、平成26年度には3,300万円、平成27年度には2億円を超え、令和2年度、3年度は3億円を超す寄附をいただきました。令和4年度も3億円を超える寄附になると予想しています。

(奥村総務課長)

現在、企業版ふるさと納税を活用した地方創生事業はございません。

答1-3 (奥村総務課長)

寄附をいただくには企業の方針などと合致する必要があるため、各自治体の取組みを参考に事業の立案などをしていきます。今後は、企業へのアプローチも重要ですので、今年度から、企業版ふるさと納税の「寄附獲得に資する業務」を委託し、各企業への営業を予定しています。ポータルサイトなどの活用も研究し戦略的な取り組みとして検討していきます。

● 令和4年度一般会計補正予算案を可決

令和4年第5回臨時会は、去る10月20日に招集され、1日間の会期で開かれました。

本会議では、金子町長から行政報告と提案説明があり、続いて、執行部から提出議案1件について議案説明が行われ、各常任委員会にそれぞれ議案の審査を付託しました。

採決の結果、原案のとおり可決し、今臨時会を閉会しました。

議決結果：○…可決、同意、採択 ×…否決、不同意、不採択 賛否状況：○…賛成 ×…反対 —…議長は採決に加わらない		結	安	赤	後	後	長	林	館	加	山	三	主な内容
議案番号	議案名	果	藤	塚	藤	谷	林	林	藤	田	宅	行	
議案第49号	令和4年度八百津町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1億927万5000円を増額し、 予算総額を63億2030万円とする

ピックアップ

PICK UP!

○電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業

住民税非課税世帯に対して
1世帯当たり 5万円をプッシュ型給付

○岐阜県子育て世帯負担軽減給付金給付事業

高校生以下の子どもがいる世帯に
一律 1万5千円を給付

○医療・介護・福祉施設等物価高騰対策支援事業

エネルギー、食料品価格の高騰に伴う支援
町内32事業所へ1事業所当たり 10万円を給付

○やおっち物価高騰重点支援応援券交付事業

エネルギー・食料品価格の高騰に伴う家計費支援
1人当たり 3千円の商品券を配布

○子育て世帯負担軽減重点支援給付金給付事業

岐阜県子育て世帯負担軽減給付金給付事業に上乗せ
対象者1人当たり 5千円
※岐阜県子育て世帯負担軽減給付金給付事業の対象外世帯(児童手当対象外世帯)へ同給付事業相当分と合わせて給付



予算

▼令和4年度八百津町一般会計補正予算(第3号)
主な内容は次のとおりです。

▼総務関係の追加
……………3398万2千円

▼民生関係の追加
……………7529万3千円

こんなことが決まりました



八百津町議会次回の定例会は

12月9日(金)
開会の予定です

一般質問の様子はCCNet **地デジ12ch**
で生中継・録画放送されます

詳細は議会事務局までお問い合わせください
☎43-2111(内線2302)



[7月]

- 5日 ○東海環状自動車道中東濃地域建設促進協議会定期総会
- 7日 ○国道418号整備促進期成同盟会定期総会
- 12日 ○可茂地域一部事務組合議会臨時会
- 20日 ○議会全員協議会
○四線促進期成同盟会
- 25日 ○リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会定期総会
※例月出納検査
- 26日 ○可茂町村議会研修会
※随時監査
- 27日 ○民生児童委員推薦会
- 31日 ○杉原千畝記念短歌大会表彰式

[8月]

- 3日~5日
※令和3年度決算審査
- 8日 ○国道41号美濃加茂・下呂間強靱化推進同盟会定期総会
- 9日 ○常任委員会合同視察研修(町内)
- 18日~19日
○国際文化アカデミー
- 19日 ○リトアニアNOW2022
- 20日 ○リトアニアLabas!
カルテットコンサート(町内)
- 23日 ○議会全員協議会
- 25日 ※例月出納検査・財政指標審査
- 26日 ○県町村議会議長会及び評議員会

[9月]

- 2日 ○議会運営委員会
- 7日 ○議会全員協議会
○第4回議会定例会開会
- 13日 ○建設文教常任委員会
- 14日 ○総務民生常任委員会
- 16日 ○議会全員協議会
○第4回議会定例会閉会
- 20日 ○名鉄広見線活性化協議会
- 21日 ○叙勲伝達式
- 26日 ※例月出納検査
- 28日 ○和知小学校6年生議会学習

元八百津町議会議員の滝上和美氏が 旭日単光章の叙勲を受章されました



左から金子町長・滝上和美氏・加藤議長

令和4年9月21日に元八百津町議会議員の滝上和美氏の叙勲伝達式を執り行いました。

滝上和美氏は、平成11年9月から平成23年9月までの3期12年間、町議会議員としてご活躍されました。平成19年9月から平成21年9月までの2年間は、議会議長の重責に就かれ、議会の円滑な運営にご尽力されました。

この度、旭日単光章を受章されました。誠におめでとうございます。

議会だより 11月号編集委員会



意見箱の設置



町民の皆さんからの意見を、今後の議会運営に反映させるため、意見箱を役場本庁、各出張所に設置しています。議会に対する様々な声をお聞かせください。



特集

令和4年9月28日に八百津町立和知小学校の6年生の皆さんが議会学習と模擬議会の体験を行いました。

当日は、加藤議長のあいさつのあと、後藤一夫議員が議会の仕事や役割について説明しました。6年生の皆さんは終始熱心に聞いていました。また、議会の開会日数や議員の定足数、議員になるためにはどうしたらなるか、などたくさんのご質問もいただき、加藤議長、後藤議員が回答しました。

その後、6年生の皆さんが議場で議長や議員、執行部の役に分かれて、和知小学校6年生臨時議会として、模擬議会の体験をしました。

子供たちが体験を通じて、将来の八百津町を考える機会になれば大変うれしく思います。



只今から
和知小学校6年生
臨時議会を開会
します！



質問します！



只今の質問に
お答えします！



委員長報告



賛成起立！

和知小学校6年生の皆さんからお礼のお手紙をいただきました。

- 議会の体験として、1つの話し合いでもたくさんの方が集まって、とても時間をかけられていることが分かりました。
- やおち応援券も議会で決めて配られているということを知りました。
- 議会の決定が町の未来を大きく変えるという責任の重さを感じました。

- 私も誰かのためにできないことがないか考えて過ごしたいと思いました。
- 議会の仕事や議案の審議がどのようにしているのかよく分かりました。
- 大人になったら投票しに行って、少しでも町の役に立ちたいと思いました。
- 若い人も議員になってほしいと思いました。
- 私たちが通っている和知小学校のトイレ改修工事も議会で決められたことにびっくりしました。

